

萩ヶ丘小学校 学校だより

No. 2
5月1日



学校教育目標 ①はつらつとがんばる子 ②疑問をもって学習する子
③心身ともに健康で、ねばり強い子 校長 羽太 高裕

「元気いっぱい活動し、笑顔あふれる学校」を目指して
47名の子供たち いきいきと学校生活をスタート!



【マスコットキャラ萩ドラ】

新緑が目には鮮やかな、すがすがしい季節となりました。子供たちが入学・進級をしてから1ヶ月が経ちましたが、どの子も目を輝かせて運動や勉強に取り組んでいます。さて、今回は文部科学省で掲載されている家庭教育について紹介いたします。

「子供たちの未来をはぐくむ家庭教育」

○ 家庭はすべての教育の出発点

子供たちにとって「家庭」は安らぎのある楽しい居場所。社会へ巣立っていくために欠かせない場所。親の笑顔が子供の笑顔をつくります。親子が共に学び、育ち合う「家庭教育」を地域全体で応援する。そんな「やさしい社会」が子供たちの「未来(あした)」を育んでいきます。

○ 家庭教育ってなんだろう・・・

家庭教育は、すべての教育の出発点。家族のふれ合いを通して、子供が、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。 ～ 略 ～

家庭は、子供たちが最も身近に接する社会、常に子供の心のよりどころとなるものです。

○ 家庭の教育は個々の家庭の責任、他人には頼れない、関係ない、と思ってしまういませんか

確かに、子供の教育の第一義的責任は親が持つものであり、尊重されなければなりません。しかしながら、子供は家庭の中だけで育つわけではありません。学校や地域の様々な人たちと関わり、見守られながら成長していきます。 ～ 略 ～

○ 社会全体で家庭教育を支え合う

家庭教育はこれからの未来を支える子供たちへの大切な贈り物です。そして、子供たちを育てることは、未来の日本を支える人材を育てる重要な営みです。保護者の方々の頑張りに対して、地域や学校、行政、企業等も力を合わせ、子育て家庭の「支え」となり、社会全体で子育てや家庭教育を応援していくことが求められています。社会は家庭の応援団。文部科学省は、社会全体で支え合う家庭教育支援の取組を推進していきます。

子供たちの健やかな成長のため、未来の日本を支える子供たちのために、学校も家庭、保護者の皆様を支えていきたいと考えております。お子さんのことで、心配事や困り事等がありましたら、一人で抱え込まずに遠慮なくご相談ください。共に子供たちの「未来(あした)」を育んでいきましょう。

〈 入学式 4月10日 新1年生8名 〉

4年ぶりに来賓の方を招いて入学式を挙行することができました。

大きなランドセルを背負い、笑顔いっぱい入学してきた1年生。これからの成長がとても楽しみです。



〈 1年生おめでとう集会 4月21日 〉

「1年生おめでとう集会」を体育館で行いました。

お兄さん、お姉さんに手を引かれ、照れくさそうに入場してきた1年生でしたが、みんなの前で元気に自己紹介することができました。



〈 4月 子供たちの様子 〉



【1年生】



【2年生】



【3年生】



【4年生】



【5年生】



【6年生】

5月の行事予定

1日 全校遠足
9日 交通安全教室
12日 NRT学力検査(2~6年)
16~18日 県学力学習状況調査

23~26日 個人面談
26日 知能検査(2・4年)
29日 ノーテレビ・ノーゲームデー
31日 プール清掃